

6 蒙古合戦勲功配分状 (入来院家文書)

S〇六七・一・一八・一八。一通。縦二九・〇cm、横八七・四cm。

入来院家文書は、薩摩国入来院の地頭入来院家に伝来した文書。入来院氏は、元来は相模国渋谷荘の地頭の渋谷氏であったが、宝治元(一二四七)年の、宝治合戦(北条氏と三浦氏の戦闘)における勲功で渋谷定心が恩賞として入来院を与えられ、のちに子孫が入来院に移住し、入来院の家名を称した。入来院家文書は、一九二九年に米国イエール大学の朝河貫一が英訳し紹介したので、日本中世史料として世界的に知られることになった。史料編纂所のデータベースで画像・積文・英文を閲覧できる。

正応元(一二八八)年十月三日蒙古合戦勲功配分状は、御家人武光氏が弘安の役(弘安四(一二八一)年)に従軍した恩賞として与えられたもの。武光師兼は薩摩国高城郡吉枝名を拠点とする御家人。鎮西奉行として文永・弘安両度の合戦を指揮した大友頼泰と少弐経資が連署する孔子配分状の形式をとっている。孔子は限られた恩賞地を公平に配分するための措置。「参考」相田二郎『蒙古襲来の研究』増補版(吉川弘文館、一九八二)。

〔積文〕  
〔七〕

弘安四年蒙古合戦勲功賞筑前国

早良郡七隈郷地頭職配分事

一人薩摩国武光三郎師兼

田地参町

当郷内

一所

七段大内六段、西依

一所

八段半

一所

丁

一所

八段小内五段半、東依

屋敷二箇所

比伊郷上乙王丸名内

一字

蓮成房

三奈木庄井上名内

一字

弥平三

畠地六段

七隈郷内

一所

三段二丈

長瀬庄内

一所

一段 安与

一所

一段三丈、

元三段四丈内、

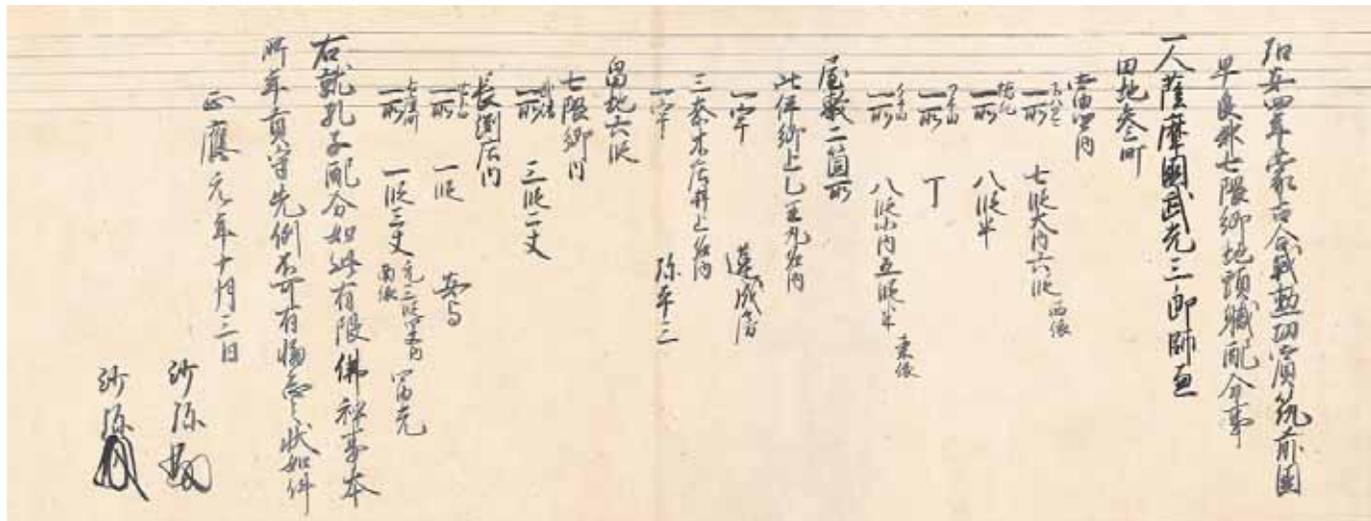
富光

右、就孔子配分如此、有限仏神事・本所年貢、守先例、不可有懈怠之状、如件、

正応元年十月三日

沙弥(花押)

沙弥(花押)



6 蒙古合戦勲功配分状 (入来院家文書)